

(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷

監視項目	測定・調査項目	調査範囲	調査点	2期供用開始後(H19.8)～		現行(R4.2末時点)
				調査頻度	実施期間	
騒音	航空機騒音	大阪湾沿岸地域及び飛行経路周辺地域	11地点(常時) 10地点(定点)	常時観測	将来にわたり実施	備考
	飛行経路・高度		教箇所	年1回程度 (当面年1～4回)	将来にわたり実施	将来にわたり実施
低周波音	航空機の低周波音	大阪湾沿岸地域	教地点	常時観測	運用開始3年後まで	平成29年度から当面の間
大気質象	窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、炭化水素(メタン・非メタン)、風向・風速 二酸化硫黄 窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、風向・風速	空港島対岸部	1地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	運用最大時の3年後まで
		空港島周辺海域	2地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	運用最大時の3年後まで
水質	透明度 水温・塩分、pH、DO、COD、T-N、T-P、7日B7/la、SS	空港島周辺海域	4点	年4回(四季)		当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点	年4回(四季)		当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
底質	泥温、強熱減量、粒度組成、pH、COD、硫化物、T-N、T-P	空港島周辺海域	4点	年2回 (夏季、冬季)		当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点	年4回(四季)		当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
海域生物	植物プランクトン 動物プランクトン	内部水面海域	2点			当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		空港島周辺海域	4点	年4回(四季)		当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点			当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
陸生動物(鳥類)	鳥類の飛来・生息 タカ類の渡り	空港島周辺海域	4点	年3回 (春季、夏季、秋季)		当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		1期及び2期空港島内	定点及び調査ライン	3年ごとに月1回	3年ごとに月1回	航空機年間離着陸回数が増加(20万回程度(など)した段階で再開(令和元年度より休止)
		空港島周辺海域	調査ライン	3年ごとに年4回	運用最大時の3年後まで	
		タカ類の渡りのルート	1点	3年ごとに年1回		